

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・商店街内の空き店舗率も下げ止まり感が出てきている。2、3か月後は、夏のイベントがあり、観光客や県内の郡部からの人出が見込まれ、商店街回帰が期待できる。
		旅行代理店（従業員）	・今まで低調であった職場旅行、視察旅行、各種団体旅行などの団体旅行が復活してきている。また個人、グループ旅行も夏休みを控えて、海外旅行を中心に旅行相談の来店客が増えてきている。
		通信会社（企画担当）	・ボーナスが支給され、新商品がラインナップされる。
	変わらない	一般小売店〔菓子〕 （販売担当）	・販売量の減少傾向はしばらく続きそうな感じである。
		百貨店（総務担当）	・アロマ関連商品を見ると、オイルなどは容量の多い単価の張る商品が売れ出したなど、明るい兆しも一部にはあるが、全体的にシビアな購買行動に変化はない。二極化が進み、低価格商品を買われる客ほど、買物に慎重になっている傾向がある。
		百貨店（営業担当）	・ファッション関連が総じて苦戦した。婦人、紳士共に高額商品ほど苦戦した。
		スーパー（企画担当）	・客単価では、4月は前年比を辛うじてクリアしたが、5月は1%強ダウンし、単価下落に歯止めがかからない。客も価格をみて、買い回っている様子である。
		スーパー（財務担当）	・6月は、県外のディスカウントスーパーが、当地区に新しく2社も進出予定で、店舗間競争はますます激しさを増し、収まる気配はない。
		コンビニ（店長）	・月販売額は前年比で多少の増加月はあるが、あくまで営業努力の結果であり、今月の販売額は昨年同様であると見込まれていることから、2、3か月くらいで景気の上向きが予想される要因はない。ただ、来客数が徐々に増えている。
		衣料品専門店（経営者）	・カットソー、カーディガンなどの羽織物に動きがあるが、力強さに欠ける。また、先行きの景気を予測する上で有効な各種秋冬物受注会の実績も低調である。3か月後も前年比マイナス基調は変わらない。
		家電量販店（営業担当）	・客単価は多少上昇してくるが、販売台数は例年並みで推移しており、大きな伸びにはつながらない。
		観光型旅館（経営者）	・愛知万博があり、国内旅行の形態も変わってきており、しばらくは今の状態が続く。
	やや悪くなる	通信会社（営業担当）	・新商品販売、販売施策を実施予定であるが、現在の客動向から、販売数の増加はあまり期待できない。
		その他住宅〔不動産〕 （経営者）	・土地の値下がりや購入需要の低迷は続いており、しばらく景気は良くならない。
		乗用車販売店（従業員）	・他社の新販売店がスタート予定であり、厳しくなることが予想される。
悪くなる	タクシー運転手	・同業他社との客の取り合いが激しい。	
	設計事務所（職員）	・売上、単価とも期待できず、特に売上は極めて厳しい。	
	一般小売店〔生花〕 （経営者）	・5月まではシーズ的に良く売れる時期で、2、3か月先は、かなり売上が落ちる。また、大型店が近隣に出店するため、かなり売上が落ちるのではと心配している。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	スーパー（統括担当）	・他社スーパーの新規出店が5店舗予定されており、競争が激しくなり、現時点でも単価を下げる競争に入っており、苦戦する。
		一般機械器具製造業 （経理担当）	・中越地震の本格的復興工事が始まるなど、クレーンの稼働率向上が買換え需要を後押ししてくる。
	変わらない	通信業（支店長）	・今後、新商品が発売されるが、市場もかなり飽和状態に近づいており、昨年と比べて、大きな伸びは期待できないが、若干の上積みは期待できる。
		繊維工業（経営者）	・相変わらず海外商品が増加しており、国内産地の努力が目に見える形で好転する状況となっていない。
		一般機械器具製造業 （経理担当）	・メーカー間の競争が厳しく、部材の高騰による顧客への価格転嫁など、当面予断を許さない。
		建設業（経営者）	・見積件数はあるが、値段の関係で受注は伸びない。
		輸送業（役員）	・石油価格が高止まりしている状態で、中小企業は商品への価格転嫁が難しい状況であり、しばらく今の状況が続く。

	金融業（融資担当）	・同業種でも、県外に販売先を持つ少数企業の売上は増加しているが、ほとんどの企業の売上は底の状態が続いている。	
	広告代理店（経営者）	・依然、得意先の年間広告予算は少なく、売出しなどの特定月以外の広告出稿は非常に少なく、3か月先の増加の見通しは厳しい。	
やや悪くなる	化学工業（営業所長）	・販売店、ユーザーの意見から、受注状況、需要が今の状況から良くなる雰囲気はない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・設備の先行投資をしていた電子材料製造業者が、設備投資を3月に中止し、いまだに再開の兆しがないなど、先の受注が見込めない状況である。	
	建設業（総務担当）	・土木部門は災害復旧による特需が一段落し、新規発注の見込みが全く立っていない。	
	輸送業（支店長）	・コストダウンも限界にきており、その上、引き続き複数の取引先から、軽油の値上げ要請があるなど、この状況はまだ続く。	
悪くなる	-	-	
良くなる	-	-	
雇用 関連	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・紹介予定派遣の依頼が増え、正社員で採用される人が増えている。
		職業安定所（職員）	・製造業が前年比、前月比とも若干増加している。このため、市場に活気がある。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・夏のボーナス時期をめぐりとした転職意識もあり、それを一つの指標として積極的な採用PRの促進を行えば景気は良くなる。
		職業安定所（職員）	・非正規型での在職者が正社員に変わるため、求職するケースが目立ってきた。
変わらない		職業安定所（職員）	・新規求人数は、前年同月と比べて増加した。また有効求職者数は3か月連続で減少したが、若年者、パート求職者、及び在職者が増加しているなど、有効求職者数は高止まりで推移し、厳しい状況が続いている。
		民間職業紹介機関（所長）	・業種にばらつきはあるが、採用に費用をかけたくないという企業が多い。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新卒採用者数の増加の兆候がうかがえない。
やや悪くなる	求人情報誌製作会社（従業員）	・求人件数がさらに増えなければ、求職者数が多い状況であっても、求人市場自体の動きが出てこない。	
悪くなる	-	-	